

平成21年度 事業報告書

自 平成21年4月 1日

至 平成22年3月31日

社団法人 横浜市工業会連合会

平成21年度の経済情勢は、一昨年来の急激な落ち込みの後、世界経済の回復等に伴い緩やかな回復の兆しが見られました。しかし、金融不安はぬぐいきれず、予断は許されない状況となっています。多くの中小企業にとっても、受注減、資金繰り、などの厳しい状態は未だ続いており、このような状況下で当連合会では、地域経済の活力再生を担う製造業等の業績拡大に努めました。市工連事業としても、横浜産貿ホール稼働率のアップ、鳥浜の「試作用賃貸工場」の入居者の促進に取り組みました。

また、地域工業会や工業会会員相互の緊密な連携と横浜市等関係機関・団体との協調のもとに、工業会会員企業が蓄積した高度な技術や新規開発した技術を活かしたビジネスチャンスの拡充や人材育成、技術力向上等会員企業の経営基盤強化に努め、以下の事業を実施しました。

1 経営基盤強化事業

(1) 新入社員合同研修

「帆船日本丸」における甲板みがき、漕艇、登橋、結索などの訓練を含めた研修により、忍耐力や協調性、連帯感などを新入社員に体験させることを通して、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。

開催日 平成21年4月15日（木）～16日（金）（1泊2日）

会場 帆船日本丸、同訓練センター等

参加者 12社 32名（男性23名 女性9名）

研修内容 （テーマ及び指導者・講師）

① 船上訓練、カッター訓練 日本丸船長、航海士、甲板員等

② 明るく楽しい社会人生活を送ろう

企業体質改善センター代表 伊藤勝啓氏

③ 「海に学ぶ（シーマンシップ）」 日本丸船長 山本訓三氏

④ 新社会人～人との接し方～

(株)プラン ドゥ シー 代表取締役 山上真由子氏

(2) 地域工業会及び横浜青年経営者会への活動支援

地域工業会ならびに横浜青年経営者会の活動を支援しました。

併せて、地域工業会・青経会の経営安定及び交流等に寄与する活動について一部補助を行いました。

(3) 産学連携、産学交流の推進

(財)横浜企業経営支援財団との連携による産学交流サロンの開催を通じて産学連携・交流を支援しました。

毎月定例1回及び随時、市工連と(財)横浜企業経営支援財団との共催で「産学交流サロン」を同財団会議室他で年間20回開催。

第139回(21年4月21日開催)～第158回(22年3月12日開催)

2 テクニカルショウヨコハマ2010

「新たな技術で明日を拓く」を主要テーマに、県内に立地する事業所等の技術・製品を展示して、技術力の向上とビジネスチャンスの創出を促進するため、(財)神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により開催しました。

開催期間 平成22年2月3日(水)～2月5日(金)3日間

会場 パシフィコ横浜展示ホール

出展数 333社・団体

小間数 351小間

入場者数 28,693人

[市工連主管併催事業]

記念講演会

日時:2月3日(水)13:30～15:00

会場:パシフィコ横浜2階アネックスホール

テーマ:「この会社はなぜ快進撃が続くのか」

講師:法政大学大学院政策創造研究科教授・同経営大学院(MBAコース)兼担教授及び法政大学大学院静岡サテライトキャンパス長坂本光司氏

参加者:207名

[横浜市補助事業]

「ヨコハマものづくりポータル」の開催

多くの市内中小企業に対し、横浜市が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や活用した企業の技術を披露し、周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ2010に横浜市ブース「ヨコハマものづくりポータル」を開催しました。

開催日時 平成22年2月3日(水)～5日(金)10:00～17:00

場所 パシフィコ横浜展示ホールC・D

出展企業 53社5団体

3 ものづくりネットワーク形成促進事業 (横浜市受託事業)

新事業展開や新製品開発、受発注機会の拡大を支援するため、情報交換会・商談会を開催しました。また、常時会員企業からの受発注等に関する相談に応えるとともに、情報提供を行うなど、市内製造業のネットワークづくりを促進しました。

(1) 受発注相談(市工連への電話・FAX・Eメール等による受発注相談)

相談件数：56件（すべて新規発注相談）

成約成立：12件、不成立：44件

(2) 商談会等の開催

① 受・発注商談会（川崎開催）

日時 平成21年9月8日（火）11:00～17:15

会場 川崎市産業振興会館 1階ホール

主催 (財)神奈川産業振興センター、川崎市、(財)川崎市産業振興財団、市工連、横浜市

参加 363社（発注47社・受注316社）・商談件数715件

内容 発注企業からの逆指名を一部採用(今年度初)と当日会場内で発注企業の案件を見て受注企業からの個別商談申込の併用制を採用

② 受・発注商談会（横浜開催）

日時 平成21年12月8日（火）12:00～17:30

会場 新都市ホール 横浜そごう9階

主催 市工連、横浜市、(財)神奈川産業振興センター、(財)川崎市産業振興財団、川崎市

参加 440社（発注54社・受注386社）・商談件数1013件

内容 発注企業からの逆指名（62社中31社50%）と当日会場内で発注企業の案件を見て受注企業からの個別商談申込の併用を実施

(3) 横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の機能強化

横浜ネットワークプラス（受注・発注マッチングサイト）をPRするために、市工連ホームページサイト改定と横浜ネットワークプラストップページの改定を行った。

1) 検索エンジンの最適化：

① キーワード検索を可能にした。

② 横浜ネットワークプラスのトップページ改訂

③ 市工連ホームページのトップページ改訂

2) 参加企業加入促進のためのPR活動

① 横浜ネットワークプラス「会員数のアップ」：33社新規加入

3) 発注案件の登録・公開

① 受けた案件を横浜ネットワークプラスに掲載するように改定した。

4 ものづくり後継者育成支援事業

① 就職に関する懇談会等の開催（横浜市補助事業）

神奈川県内の高校卒業生の地元中小企業への就業を促進するため、県内高校関係者と企業との就職に関する懇談会を開催しました。

日時 平成21年6月18日（木）16:00～19:30

会 場 日産横浜倶楽部（A～Cホール全利用）
参 加 県立神奈川工業高校等 25校 26名
 会員企業 25社 30名（当日欠席 1社 1名）、ハローワーク他

② 工場見学会の開催（横浜市補助事業）

学校関係者の中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者の育成を図るため、就職指導教員と学生を対象に、横浜市との連携のもとに市内企業の工場見学会を実施いたしました。

実施日 平成21年8月20日（木）、26日（水）、31日（月）、
 9月2日（水）、9日（水）、11日（金）

見学企業 5社（株佐々木鉄工所、日本自働精機(株)、小糸工業(株)、
 (株)ブリヂストン横浜工場、ニッパ(株)）

参加者 教員 2名、学生 3名（ 8月20日）
 教員 1名、学生 1名（ 8月26日）
 教員 2名、学生 11名（ 8月31日）
 教員 2名、学生 17名（ 9月 2日）
 教員 1名、学生 3名（ 9月 9日）
 教員 3名、学生 16名（ 9月11日）

③ 技術者育成支援事業（横浜市補助事業）

市内中小製造業の多様な技術ニーズに対応できる人材育成を支援するため、民間研修機関等が実施する実技講習を受講した中小企業に対し、受講料の一部を補助いたしました。

④ すぐれたアイデア表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」の提案により、企業の発展に貢献した従業員を市工連賀詞交歓会の席上で表彰しました。

表彰日 平成22年1月6日（水）

会 場 ホテルキャメロットジャパン

受賞者 3社 6名（別表1）

5 広報事業

(1) 機関誌「よこはま市工連」の発行

年間2回発行 各回3,000部発行

平成21年7月（60号）、22年1月（61号）

(2) 広報誌「市工連かわらばん」の発行

年間6回発行 各回2,600部配布

平成21年5月（116号）から22年3月（121号）まで隔月発行

(3) インターネットを利用した情報提供

ホームページや市工連ニュース（メールマガジン）などを活用し、工業会会員、関係者に対し、市工連、横浜市ほか関係機関団体の経営に資する各種情報を提供。

メールマガジン「市工連ニュース」の発行

平成21年4月17日 第160号発行から

平成22年3月 3日 第188号発行まで 29回発行

配信先 工業会会員等約 800 件

6 福利厚生事業の推進

第6回市工連ボウリング大会の開催

工業会会員並びに従業員相互の交流を深めるため、地域工業会から選出されたチームによる第6回市工連ボウリング大会を開催しました。

日 時 平成21年11月19日(木) 19:00～

会 場 新杉田ボウル

参 加 19チーム 76名

7 環境、雇用対策並びにPL保険

(1) 市工連PL保険の加入促進

製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、引き続き市工連独自のPL保険の加入を推進しました。(代理店：朋栄)

(2) 災害共済及び労災共済保険の加入促進

従業員の業務上の災害等に対応するため、引き続き災害共済及び労災共済保険の加入を促進しました。(損保ジャパン)

8 京浜ネットワーク支援活動事業（関東経済産業局補助事業）

京浜地域の企業を対象にマッチング・コーディネータを派遣し、大手企業と中小・ベンチャー企業のネットワークを拡大・強化するとともに、企業と大学との産学連携を推進するフォーラムを開催しました。

(1) 川下大手企業出張プレゼン事業

京浜クラスターフォーラム会員及び本事業参加の勧誘などを目的に、マッチング・コーディネータが中小・ベンチャー企業を訪問。大手企業に中小・ベンチャー企業を紹介するとともに、面談要望がある企業については、大手企業内においてプレゼンテーションや製品展示を実施した。

(訪問企業数) 中小・ベンチャー15社 大手 30社

(大手企業内プレゼンテーション) 16社、23回実施、中小・ベンチャー企業延べ74社参加

(2) 産学連携フォーラム

中小企業の得意分野をテーマに、大学の持つ高い研究成果を横浜および京浜地域の企業に紹介した。また、参加企業と大学の研究者との意見交換を通し、実りあるセッションとした。(2回開催・関東経済産業局後援)

<第1回>

テーマ：センサー・制御技術 ジョイントセッション

開催日時：平成21年11月12日(木) 13時～

開催場所：横浜ワールドポーターズ6階イベントホール

<第2回>

テーマ：技術セミナー「プラズマ利用で新たな“ものづくり”を！」

開催日時：平成22年2月4日(木) 13時10分～

開催場所：パシフィコ横浜展示ホール2階E206号室

9 産業振興に関する提言、調査、研究

平成22年度横浜市産業振興に関する要望書の提出

地域工業会からの意見、要望を取りまとめ、横浜市の産業振興施策への反映を図るため、横浜市長に平成22年度予算編成に向けて要望書を提出し、要望事項の実現を要請しました。

提出日 平成21年10月16日(金)

場 所 市役所応接室

出席者 市工連会長、工業会会長会議委員ほか

要望書 「重点要望事項」及び「局別要望事項」 全33項目

10 横浜産貿ホールの管理・運営事業

新たな顧客の獲得を目指し経営基盤の安定・強化に努めました。

昨年に引き続き展示場内の放送音響設備の更新を行い展示場機能の維持管理を図りました。

11 T³(鳥浜・試作型貸スペース)事業

鳥浜・試作型貸工場については工場環境整備として遮光板を設置し、また不動産の周旋依頼、ホームページへのバナー広告掲載、ダイレクトメール送付、テクニカルショーでのパネル展示と入居企業製品展示等、入居促進を図りました。

所在地 横浜市金沢区鳥浜町16番6

施設内容 試作用貸スペース 約80m²～約120m² 全5区画(2区画入居)
(付属事務室 約25m²～約28m²)

12 総会、理事会、委員会等

(1) 総会

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
5月26日 (火)	第67回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度事業報告 同 収支決算報告 平成21年度横浜市産業振興に関する要望書の回答について など 	ホテルキャメロットジャパン
6月25日 (木)	第68回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> 理事退任に伴う補充選任 副会長退任に伴う補充選任 参与の承認 市工連委員会の正副委員長 	ホテルキャメロットジャパン
3月25日 (木)	第69回通常総会	<ul style="list-style-type: none"> 平成22年度事業計画 同 収支予算 鳥浜トライ&トライアル事業 産貿ホール収支状況 など 	横浜情報文化センター

(2) 理事会、会長会議、委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
4月10日 (金)	広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> よこはま市工連第60号の発刊計画 第60号掲載内容について 協賛広告サイズ・料金改定について 	横浜産貿ホール 展示場B
5月19日 (火)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> 第79回理事会・第67回総会の議案について 平成20年度事業報告 同 収支決算報告 「就職に関する懇談会」開催 など 	波止場会館会議室
5月26日 (火)	第79回理事会	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度事業報告 同 収支決算報告 平成21年度横浜市産業振興に関する要望書の回答について など 	横浜情報文化センター
5月26日 (火)	市工連正副会長会議	<ul style="list-style-type: none"> 役員人事について 	横浜情報文化センター
6月16日 (火)	政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度横浜市予算編成に関する要望について (回答) 平成22年度横浜市予算編成に関する要望事項の提出 (依頼) 	波止場会館会議室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6月25日 (木)	第80回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・理事退任に伴う補充選任 ・副会長退任に伴う補充選任 ・参与の承認 ・市工連各委員会の正副委員長 	ホテルキャメロットジャパン
8月21日 (金)	政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度横浜市産業振興に関する要望事項について 	波止場会館会議室
9月7日(月)	市工連会長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度横浜市産業振興に関する要望書について ・要望書の市長への提出について など 	波止場会館会議室
10月7日 (水)	広報委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・よこはま市工連第61号発刊計画 ・第61号掲載内容について ・協賛広告・原稿提出のお願いなど 	横浜産貿ホール 小展示室
10月16日 (金)	市工連会長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度横浜市産業振興に関する要望書の市長提出 	横浜市役所応接室
12月16日 (水)	市工連正副会長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・公益法人制度改革について ・産貿ホール経営状況について ・鳥浜トライ&トライアルステージの入居経営状況について など 	ホテルキャメロットジャパン
12月16日 (水)	市工連会長会議	<ul style="list-style-type: none"> ・公益法人制度改革について ・産貿ホール経営状況について ・鳥浜トライ&トライアルステージの入居経営状況について など 	ホテルキャメロットジャパン
1月21日 (木)	市工連会長会議	横浜市会「経済活性化特別委員会」意見交換会	市工連「小展示室」
3月9日 (火)	事業企画委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・産貿ホール・マリネリアの経営状況 ・鳥浜トライ&トライアルステージの入居・経営状況 ・平成22年度 委託・補助事業について ・平成22年度 市工連独自事業について ・市工連 平成22年度事業計画(案) 	横浜情報文化センター
3月16日	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・第81回理事会・第69回総会の議案について 	波止場会館中会議室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
(火)		<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度事業計画について ・平成22年度収支予算について ・公益法人制度改革 など 	
3月25日 (水)	第81回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度事業計画について ・平成22年度収支予算について ・市工連の委員会について など 	横浜情報文化センター
3月25日 (水)	第78回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度事業計画(案)について ・平成21年度収支予算(案)について ・就業規則の改正 など 	ホテルキャメロットジャパン

(3) 平成22年賀詞交歓会の開催

日 時 平成22年1月6日(水) 16:00~18:00
 会 場 ホテルキャメロットジャパン 4階フェアウインドウの間
 参加者数 125名

(4) 地域工業会事務局長会議

事務局長会議を次の通り開催し、市工連と地域工業会との情報交換・連携を図りました。

〈21年〉4月15日、5月20日、6月17日、7月15日、9月16日、
 10月21日、11月18日、12月16日
 〈22年〉2月17日、3月17日

以上

第26回すぐれたアイデア表彰受賞者

(別表 1)

受賞者 3社 6名 (順不同・敬称略)

NO	企業名	氏名	職名	アイデアの名称
1	日産自動車(株)	おぐら 小椋 かずなり 和成	改善業務推進	切削水、洗浄水等 ライフサイクル延長のための装置考案
2	日産自動車(株)	ながしま 長嶋 かつじ 克治	改善班	MR加工部品 自動運搬化の考案
3	(株)吉岡精工	まつお 松尾 きょうすけ 恭介	技術部メンバー	スライサー用チタン合金製フランジの開発
4	竹澤工業(株)	たしろ 田代 ただし 忠	製造・工務 グループ係長	シールフランジ制作工程数の短縮
5	竹澤工業(株)	しみず 清水 のりひと 礼仁	調達グループ 主任	フランジ用真鍮加工部材の端材有効活用
6	竹澤工業(株)	もちつき 望月 ゆういち 裕一	製造・工務 グループ	塗装工程におけるダクトのサンドブラスト前マスキング工数削減